

SSKW NPO 法人

横浜マックニュースレター

2021.9.22

横浜マックは、アルコール・薬物依存症者の回復と社会参加を支援します。

横浜マックのいろいろな話題はネットで“横浜マック”で検索してね。

2004年に開催された『横浜マック20周年感謝の集い』でのジャン・ミニー神父の講演を連載形式でお届けしております。

「マックの理念について」③みのわマック～山谷の思い出

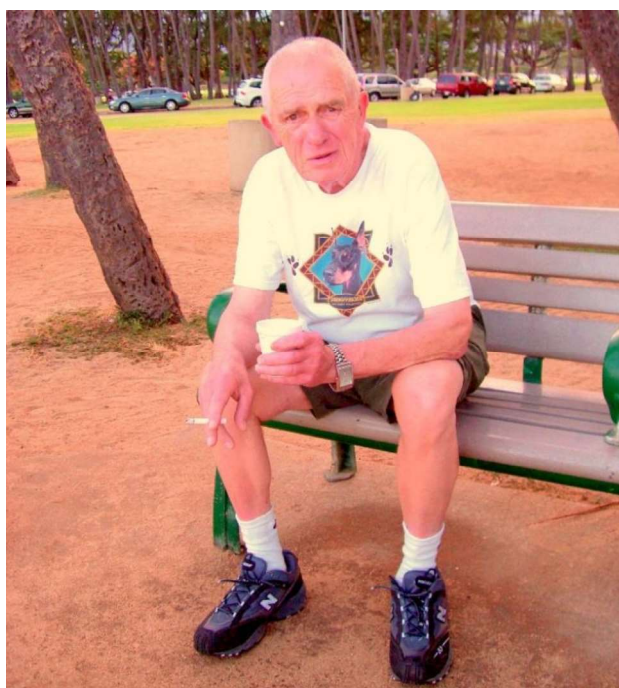
あれから30年以上が経ちました。最初はね、病院とかケースワーカーには全然信用されませんでした。しかし、彼らのやり方で長いソブラエティー(飲まないで生きること)を持っている人は誰もいないということがだんだんわかってきた。そして少しずつ信用につながったと思います。

例えば、悪口を言いますが、福祉事務所へ行って頼んだんですよね。彼らに3ヶ月の生活費を出してください。3ヶ月のミーティングを、毎日3ヶ所行く交通費。3ヶ月経ってから仕事を探しに行って、アパートを借りて、飲まないでいる生活が出来るということを伝えた。それが言えたのは、すばらしいケースワーカーがいたんですよ。何故すばらしいケースワーカーと僕が今日言うわけは、本人がここにいるから…(爆笑) だけど若かったよ、あの時は…。告白するけど、僕はあの人に怒鳴っちゃった。

「面倒みましよう」という返事を貰い、やりだしたんです。その後1,2年くらい経って、大宮ハウスを閉めて、ミノ輪でマックを始めようと思ったところ「大宮のハウスは閉めないで、残してください」と、福祉事務所に言われたんです。役所の記録上では、大宮ハウスの実績が全国で一番良かったから。というのは、お酒を止めて、福祉のお金も出さずに済むようになっていった人数も統計上では一番多かったんだから。何年か過ぎ、アルコール依存症からの回復の問題についても、だんだんと考え方が変わって行って、病院も少しずつマックの風のミーティングへ出すようになった。だけどそのまま、マックへ通った人はあまりいません。

一人はね、あるおじさんが僕に、「ミニーさん、俺は絶対飲まない」と、言った。「何故ですか?」と、彼に聞いたら、「先生がさ、俺一杯飲んだら死ぬと言ったから、もう絶対飲まないんだ」と。ところが、帰りに角で一杯飲んで死にましたよ(爆笑)。そのまま…ね。簡単なものじゃないよ。

海外のAAやNAの場合ですと、援助の仕事する人たちの場合は自分自身の経験をもって、その経験を教訓として仕事をするということなんです。それは「ピアサポート」と向こうでは言うんですけど…。日本にはそういう人がいなかった。調べたら、病院の人たちって学校を出てからそのままでしょう? 私の場合は、自分自身でね、この人たちの教育をやらなければならないと感じて、山本さんとか、田島



さんとか、美紀さんたちを大事にして、だんだんと出来るようになったんですよ。

今日は、山本さん(みのわマック元所長)が 30 分ぐらい話したでしょう?最初は 1 分でも長かったよ。恥ずかしいからとか、自信がないとかね。ある時は、この仕事は俺に合っていないとか、バタバタバタバタ文句言いに来たんですよ。しかし、僕は言ったんですよ。「駄目ですよ。この仕事をやめることはできないからそのまま頑張ってください」と。田島さんもやる自信がないって言ってきたけど、僕は『この人たちはうまくいったらできるんだ』という考え方を持っていた。



それでね、僕は初めて山谷へ行った。そこで、糧取(かとり)先生に会ったの。あの有名な山谷の糧取先生ね。「早くこの人たちを治して下さい」と彼に言われていて…。まずはハウスを始めて人間を集めて、その人たちを使ってミーティングをやり、AA グループができれば、山谷に戻って何とかなると私は思っていたから。先生に「これから出来ると思っています」と言ったんですよ。しかし、三ノ輪は山谷より離れているところで、遠いんです。

それと、その人たちが合わない事情がある。台東区の若旦那と昨日まで酒を飲んでいて、いきなりミーティングに入るのでは、人との温度差があるの。山谷のアルコール中毒者は、第一汚い。真っ黒で男か女かどっちかわからない。僕は山谷で本当に見たことがあるんですけど、救急車が来て誰かを乗せても、ひと回りしてからおろして帰っちゃったよ。実際にそういうやり方だったんだから、あそこでは。だから、私たちは山谷の人たちをゆっくりさせて…と考えてやりだしたが、1 回ではほとんどうまくいかなかったよ。2、3 回ぐらいは、つきあった…。

つづく

お気楽の会 8月の俳句

兼題 「心」 または自由

八日目の蝸鳴きぬ爆心地 緑青	八月のジブリが好きだ青い空 社務	サルビアや子ども心に蜜の味 乃無燐	夏の日の心凍らす肝試し きんこ	秋の夜心はずませ流れ星 なんなん	明日への心の野望図破れ傘 イサキ	子心の無邪気を眺め田草取り 天翔	恋だった花火帰りに手を繋ぐ 海斗	心地良い秋の風に吹かれない 益田	冷奴食べて心に沁みわたる ラオウ	準特 コロナ禍もどこ吹く風の蟬の声 空知	特選 御巢鷹の御魂を悼む夏の尾根 た1坊
-------------------	---------------------	----------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------------	----------------------------



横浜マック近況報告

すいか

緊急事態宣言の延長を受けて、横浜マックでは外出のレクなどを控えています。例年では今頃、みんなで宿泊研修に行っている時期ですが、ミーティングを地道に重ねていく毎日です。そんななかで、OBからスイカの差し入れをいただきました。冷蔵庫で冷やしてみんなで美味しくいただきました。ありがとうございました。

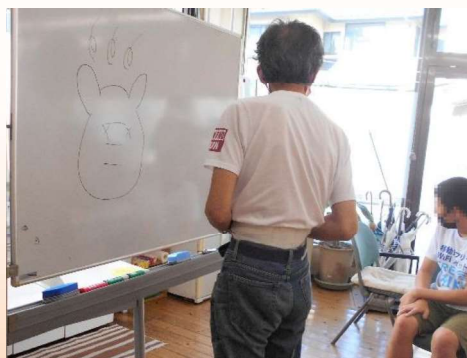


ビデオ鑑賞会「おとうと」

8月のビデオ鑑賞会は山田洋次監督「おとうと」でした。吉永小百合と笑福亭鶴瓶が姉弟を演じているのですが、その弟・鉄郎は大酒飲みの厄介者。呼ばれていない結婚式に突然現れて大暴れ。家族からも疎遠になるなかで、鉄郎は末期がんを宣告され、民間のホスピス「みどりのいえ」で最後の日を迎えることとなります。姉弟の絆を描いた作品ですが、横浜マックでは笑い声が起こる場面もありました。「病院で何度も観た」「点滴のシーンが傑作」「看取りのシーンが泣けた」といった感想をいただきました。

誕生日会

横浜マックでは3ヶ月に1回、誕生日会を開催しています。今回は8,9,10月生まれの方をお祝いする予定だったのですが、なぜか横浜マックではこの時期に誕生日を迎えた方が非常に多く、急遽2回に分けて2ヶ月連続で誕生日会を開催することにしました。AAでおなじみの「小さな祈り」を記した盾をプレゼントし、みんなでお祝いしました。レクでは、ホワイトボードに絵を描き、司会者から出題されたお題を当てるという「お絵描きゲーム」を行いました。チームごとに競い、大笑いしながら楽しみました。この写真ではわかりづらいかもしれませんが、こちらの答えは『風邪をひいたピカチュウ』でした。



野菜大収穫

グループホームいしすえの庭では野菜を育てています。トマト、ゴーヤ、キュウリ、ナス、ピーマン、バジル、オクラ、ししとうなどなど。例年にも増して、たくさんの野菜が実り、収穫するたびに利用者・職員みんなに分ち合いました。すでに秋冬に向けて大根、人参、ネギなどの準備も始まっていますし、また来年の夏も楽しみにしています。



★8月会費・献金者 献品者★

河手昇、西村静子、中野郁治、青木玲子、斉藤利彦、園田嘉和
日本キリスト教会鶴見教会横浜マックを支援する会（敬称略、順不同）

その他匿名の方々に会費、献金、献品を頂きました。ありがとうございました。

★10月予定★

行事・病院メッセージにつきましては、
新型コロナウイルス感染対策のため開催
未定となっております。



令和3年8月利用者報告

所属	新規利用者	継続利用者	合計	利用者合計				
				男性	女性		合計	
病院	神奈川病院	0	3	3				
	久里浜医療センター	0	1	1	16	6		22
	精神医療センター	0	0	0	利用者年齢別内訳			
	大石クリニック	0	2	2	10代	20代	30代	40代
	聖マリアンナ川崎	0	0	0	0	0	7	3
施設	北条クリニック	0	1	1	50代	60代	70代	合計
	まゆの家	0	3	3	7	4	1	22
	いしずえ	0	6	6	修了者内訳			
	GHけやき	0	1	1	就労	AA	その他	合計
	GHわおん	0	1	1	0	0	0	0
	福祉保健センター	0	4	4	中途退所者内訳			
その他	ネット	0	0	0	就労	AA	その他	合計
	知人	0	0	0	0	1	0	1
	その他	0	0	0				
	合計	0	22	22				

会員募集のお知らせ

横浜マックは、アルコール・薬物等依存症者の社会参加を支援します。依存症は本人だけの問題に終らず、周りの人々を巻き込んでいく病気です。一人の依存症者の回復は、その周りで苦しんでいる人々を救うことでもあります。皆様方からの支援金は横浜マックにとって大きな収入であり、毎日の事業運営及び依存症の啓発活動の資金として大切に活用させていただきます。皆様、ぜひとも横浜マックを応援してください。

正会員	年額一口	12,000円（分割納入可）
法人会員	年額一口	50,000円（分割納入可）
賛助会員	年額一口	1,000円（3口以上でお願いします）

会費・献金の振り込みは下記の口座へお願いします。

郵便局	00240-6-62177	特定非営利活動法人横浜マック
横浜銀行鶴ヶ峯支店	普通 1634881	特定非営利活動法人横浜マック 理事長 宮永 耕

編集人 (NO.341)
特定非営利活動法人横浜マック 理事長 宮永 耕
〒241-0023 横浜市旭区本宿町9-1番地6
TEL 045-366-2650 FAX 045-366-2651
<http://homepage3.nifty.com/yokohama-mac/>

発行 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会
〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21
定価 ¥100-